**第8回千葉大学ユーラシア言語文化論講座言語学講演会**

「新しい読書の姿」

**荒川洋治氏　現代詩作家**

**(令和元年度恩賜賞・日本芸術院賞受賞)**

***経歴：***1949年福井県生まれ。詩集『渡世』（第28回高見順賞）、『空中の茱萸』（第51回読売文学賞）、『心理』（第13回萩原朔太郎賞）、『北山十八間戸』(第８回鮎川信夫賞)、エッセイ・評論集『忘れられる過去』（第20回講談社エッセイ賞）、『文芸時評という感想』（第５回小林秀雄賞）。

***講師より*：“**「文学は実学である」という観点から、人間の現実感を革新する名作の魅力を見つめる。また、詩歌、小説、批評、エッセイ、戯曲などジャンルの特質と役割をあらためて確認し、新しい読書のありかたを語ってみたい。”（講師）

日時：**2019年11月21日（木）16：10～17：40**

**（終了後講師を囲んで懇談会）**

場所：**千葉大学西千葉キャンパス・文学部203教室**

**（どなたでも、講演会も懇談会も歓迎です。ご自由にご参加を。）**

**主催：千葉大学ユーラシア言語文化論講座言語学研究会**

**連絡先：菅野憲司（**[**kanno@faculty.chiba-u.jp**](mailto:kanno@faculty.chiba-u.jp)**）**